

平成 29 年度 上小圏域障がい者自立支援協議会『療育・発達』専門部会中間報告

部会長：東御市福祉課福祉援護係

事務局担当：上小圏域障害者総合支援センター

1. 平成 29 年度『療育・発達』専門部会の検討（研究）テーマの方向性

テーマ①『障がい児の緊急時等における生活拠点の必要性と構築に向けて』

- ・障がいのあるお子さんが地域で安心した生活を送るための支援体制について検討する。

テーマ②『教育・福祉の連携について』

- ・2016年4月に施行された「障害者差別解消法」により、合理的配慮を可能な限り提供することが求められる様になったが、一年が経過して、支援を必要とするお子さんに対して小・中学校や放課後児童クラブ等がどのような対応をされてきたか振り返るとともに、そこから見えてきた課題について検討する。

2. 開催報告・計画

【参加者】

テーマ①：上小圏域内の市町村福祉担当者、上小地区障がい児者施設連絡協議会、在宅福祉サービス連絡会、障害児支援に関わる事業所等、支援センター事務局

テーマ②：上小圏域内の市町村保健・福祉・教育・保育担当者、児童発達支援センター、上田養護学校教育相談専任教諭、長野大学社会福祉学科教職員、信州上田医療センターMSW、よつばの会、ワーカーズコープ、社会福祉協議会、支援センター事務局

＝ ＝ ＝ ＝ 第 30 回（5 月 29 日）自立支援協議会以降の活動内容 ＝ ＝ ＝ ＝

*第 1 回 開催日時：平成 29 年 6 月 27 日（火） 10：00～12：00

部会内容：障害児の支援拠点の整備のため、自立生活体験事業(宿泊体験事業)の活用について検討する。(テーマ①)

⇒◇上小圏内の市町村は自立生活体験事業の実施要綱あり。

◇H28 年度自立生活体験事業活用の実態

市町村名	実績数	備 考
東御市	14 人	(児童は 2 人～虐待ケース、病院からの移行ケース) 利用にあたっては、身辺自立していること、夜間一人で寝れることが条件。
長和町	2 人	(児童は 0)
青木村	2 人	(児童は 0)
上田市	42 人	(児童は 0)

◇緊急宿泊支援事業（東御市は実施要綱あり）や他の子育て支援事業等の内容についても把握していく。

*第 2 回 開催日時：平成 29 年 7 月 26 日（水） 10：00～12：00

部会内容：自己紹介、テーマの提案と検討課題の抽出（テーマ②）

⇒◇それぞれの立場や機関、市町村でそれぞれに試行錯誤しながら取り組んでいることを、共有していくことが必要。

◇他機関との繋がり方、相談先が明確でない。

◇母親の就労を応援する放課後や長期休暇対策を早急に検討してほしい…福祉サービス？放課後児童健全育成事業？

*第3回 開催日時：平成29年9月26日（火） 10：00～12：00

部会内容：自立生活体験事業実施事業所の実践報告と緊急宿泊支援事業についての説明
意見交換（テーマ①）

⇒◇子どもたちの支援のなかで、宿泊を伴う応援が必要なケースもある。体制を整えていくことの必要性は感じつつも、家族の役割やインフォーマルな繋がりとの兼ね合いも考えていくことが必要。

◇必要性は感じながらも、現場としては人材確保や施設整備等に課題があり、実施できるだけの余力がない。

＝ ＝ ＝ ＝ 以 下 予 定 ＝ ＝ ＝ ＝

*第4回 開催日時：平成29年11月28日（火） 10：00～12：00

部会内容：第2回で抽出した課題の検討（テーマ②）

*第5回 開催日時：平成30年2月9日（金） 10：00～12：00

部会内容：今年度のまとめ